

新潟県卓球連盟

卓球便

vol.55

令和3年1月29日

発行人／新潟県卓球連盟
印刷所／(有)フジプリント
(新潟市)

コロナ禍における 一年を振り返つて

新潟県卓球連盟
会長 渡邊 實

まず初めに、新型コロナウイルスに感染することは決して「悪」ではなく、誰のせいでもありません。新型コロナウイルスによって影響を受けられた全ての方々に、この場をお借りしましてお見舞いを申し上げます。

が日本で最初にコロナウイルス感染者が確認されたと発表しました。それまでは、日本から離れた遠い国の人々と、心のどこかに多少の安心感を持つっていました。しかしこの日以来、毎日のようにテレビや新聞にコロナウイルスのニュースが報道されるようになりました。皆様ご承知のとおりです。感染予防の、マスクや手洗い、三密を避ける等々の対策も繰り返し報道されるようになりました。

懸命に世話をしてきた役員や、出場して活躍を夢見ていた選手達の無念さを考えると、言葉で表しきれない空しさや悲しさを感じました。八月以来ようやく、関

球関係者に大きな衝撃を与えました。クラスターという言葉が報じられ、多くの卓球関係者も不安に駆られはじめたことと思います。

我々新潟県卓球連盟も、その対応に動き出しました。四月から、毎月一度、正副会長理事長会議を開くこととし、情報の収集・検討に着手しました。毎日のように、スポーツ庁や日本卓球協会、新潟県等々から対策、対応に関する情報が送られてきました。それをもとに会議で検討し、その結果を連盟内の各支部、部、委員会に伝達する作業をやり続けました。そのような混乱下において最も辛かったのは、各種事業や大会を中心とせざるを得なかつたことです。

まだ一年、二年を要するのではないかとも言われています。しかし、この困難にめげずにスポーツ本来の魅力、明るく元気に、笑顔で卓球を楽しむことができる日が来るまで、コロナウイルスの対策・対応に最新の注意を払つて、皆様一丸となつて頑張りましょう。

市が新潟県内最初の感染者が確認されたと発表しました。その感染者が、卓球愛好者だったことは、県内の卓



令和二年一月十六日、厚生労働省

公認審判員資格の 取得と更新について

審判部 藤田 紀良

日頃より審判部の活動に対しても理解ご協力感謝申し上げます。さて、今年度の資格更新は、平成二十九年度に取得した方および更新を済ました方が対象でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で会場等の準備ができないためやむなく中止（令和二年十二月三十一日現在）すれども方となりました。新規資格取得を希望する方、更新を希望する方からのお問い合わせがあり、改めて公認審判員の取得と更新について説明いたします。

〔任 期〕

取得年度あるいは更新年度を含めて二年（年度）

〔更新方法〕

加盟団体長が行う所定の講習会

〔活躍の場〕

全日本選手権、国民体育大会など的主要国内大会において、主審をつとめることができます。

〔② 上級公認審判員〕

〔審査基準〕

年齢が二十歳以上で、公認審判員の資格を有して三年以上の任期が経過し、かつ更新手続きを

〔③ 公認レフェリー〕

〔審査基準〕

上級公認審判員の資格を有して三年以上の任期が経過し、かつ更新手続きを済ませており、加盟団体の主催する競技会審判員の活動実績が顕著であり、他の範となる優れた審判技術を有すると認められ

る

日本卓球協会に登録しております、中学校卒業者で、所定の講習会

〔更新方法〕

取得年度あるいは更新年度を含めて三年（年度）

〔活躍の場〕

日本卓球協会ルール・審判委員会が行う所定の研修会を終了する

〔更新方法〕

取得年度あるいは更新年度を含めて三年（年度）

〔活躍の場〕

日本卓球協会ルール・審判委員会が行う所定の研修会を終了する



④ 国際審判員

世界選手権、オリンピックなどの国際大会の審判員を務めることができる

Ⅰ・公認審判員になるには（資格の取得）

新潟県卓球連盟では、公認審判員研修会が、例年（七月～八月）県内八か所（上越・柏崎・魚沼・長岡・三条・新潟・下越・佐渡）で行われています。ルール講習会、実技講習を受けた後でテスト（筆記試験）に合格することが必要になります。

Ⅲ・公認審判員の資格を更新するには（資格の更新）

前項の公認審判員研修会に出席し終了した者について任期更新の資格が与えられます。高校一年時に公認審判員の資格を取得された方は、卒業した年に更新年に当たりますので、新たな所属先（日連・社会人チーム・クラブチームなど）から更新手続きをお願いいたします。令和三年度は、平成二十九年度に資格を取得・更新をし

た方々および平成三十年に取得・更新された方々に支部を通じて更新の案内を差し上げますので、更新を希望する方々は研修会にご参加くださいますようお願いいたします。

四・最後に

ここ数年間、多くの全日本卓球大会及び北信越卓球大会が県内各地において開催されました。大勢の方々より資格を取得・更新していただき、審判員として大会の運営に参加・協力していただきました。大会を通じて大きな経験を重ね、その経験がこれから的新潟県の審判活動に大きく貢献すること期待しています。

ご協力を頼りにしました関係者の方々に心よりお礼申し上げます。本当に有難うございました。

資格取得・更新およびルールに関するお問い合わせは、新潟県卓球連盟までお願いします。

最後となる三年生にとって、部活動の集大成の場を失いやり場のない気持ちでいっぱいだったと思いま

す。

このような状況の中、八月一日

（土）～二日（日）には県総体の代

替大会として「〇一〇一〇新潟県高等学

令和二年度 新潟県高等学校選抜卓球大会兼 北信越高等学校選抜卓球大会新潟県予選会を終えて

●令和2年11月21日(土)～22(日) ●新潟市体育館



新潟県卓球連盟
高校委員会 委員長
早福 光明

校体育大会卓球競技会が新潟市東総合スポーツセンターで開催され、この大会の感染防止対策をもとに、九月に県高校新人大会（兼全日本ジュニア予選会）を柏崎市総合体育館で開催することができました。この二つの大会を運営するにあたり、日本卓球協会が示すガイドラインに基づき、コロナの感染防止対策と大会運営の両立を図るため、多くの先生方が知恵を出し合い、準備のために多くの時間を費やし、当日の運営にあたっていただきました。大変ありがとうございました。

さて、令和二年度の県高校選抜大会を運営するにあたり、学校対抗戦はダブルスを入れない形での四～五人編成での五シングルス（一人が二回出場可）とし、例年は学校対抗戦男子二十六校、女子二十四校で行っているところを男女とも十六校とし、男女シングルス百二十八名で行っているところを男女とも六十八

名とし、「密」を避けるため大会規模を約半数に縮小することとしました。各地区予選で県大会参加数を絞った形になつたため、各地区とも県出場をめぐつて激戦であつたようです。また、入場者についても保護者や選手以外の部員の入場は原則認めないこととし、入場を認められるのは、参加選手や引率者・競技役員等の必要最小限の人数のみとなりました。

迎えた大会一日目の十一月二十一日の朝は、七時二十五分に競技役員が集合し、検温・受付準備に入り会場設営、八時二十分からの練習はボーラー一球のみを使用しクロス打ち禁止の中での練習。諸連絡の後、「応援は拍手のみ」という中で約一年ぶりに団体戦の公式戦が緊張感のある中で静かにスタートしました。しかし、それはやがていつもの高校生らしいファイトあふれるプレーに変わり、例年通りの熱戦が繰り広げられました。

男子学校対抗戦は、第一シード開志国際、第二シード新潟産大附、第三シード上越の三校が順調にベスト四に勝ち進み、残り一校は新潟地区

一位の第五シード日本文理が第四シードの中越地区一位県央工業を三対二で破りベスト四入りとなりました。日本文理のエース久住珠央君の活躍が光りましたが、久住君は二日目のシングルスでも九位と健闘し、全国選抜のシングルス代表権を獲得しています。

男子決勝は、開志国際と新潟産大附の対決となり、一番から四番まで四試合中三試合がファイナルゲームまでもつれる大激戦となりました

が、一番で姚東申君をゲームオール七本で倒した松浦脩準君、同じく三番で箱岩佑介君をゲームオール五本で倒した風間征也君、四番で阿部歩夢君をゲームオール五本で倒した片山桂君らの活躍により三対一で新潟産大附属高校が三連覇を飾りました。新潟産大附エースの新沢ほのかさんが二番で開志の佐合凜音さんを三一二で破り一矢を報いましたが、一番渡辺美乃さん、三番佐藤杏香さん、四番児玉彩乃さんがそれぞれ三一〇で勝利し、層の厚さを誇る開志国際高校が三対一で勝ち昨年に続き連続優勝を果たしました。三位決定戦は両校選手が健闘し二一二

ラストのエース対決にもつれる大接戦となりましたが、北越の横山由菜さんが新潟青陵の小宮山朋香さんを〇一二の劣勢から逆転勝利で破り、北越が北信越代表権を獲得しました。

女子学校対抗戦は、第一シードの開志国際、第二シードの北越、第三シードの新潟産大附、第四シードの新潟青陵の四校が順当にベスト四に勝ち上がりました。ベスト四決定戦では新潟青陵と第五シード上越との対戦が注目されましたが、新潟青陵が三対一で勝利しました。

女子決勝は、準決勝で新潟青陵を三対一で破つた開志国際と北越を三対二で破つた新潟産大附の対決となりました。新潟産大附エースの新沢ほのかさんが二番で開志の佐合凜音さんを三一二で破り一矢を報いましたが、一番渡辺美乃さん、三番佐藤杏香さんが前日の雪辱を果たして七位となり代表権を獲得しました。

終わりに、男女とも私学優位が顕著になつてき本県高校卓球界ですが、お互い切磋琢磨しながら心技体を磨き、スポーツを通じて人間としての成長を目指してもらいたいと思います。また、二日間に渡り、検温・消毒作業等、多くの先生方や補助員生徒の協力をいただき、無事、コロナ禍の中での大会を終了できました。主管校の新潟工業高校の新田先生を中心に、細心の注意を払いながら大会運営にあたつていただき深く感謝申し上げます。

越高校のエース松井遙哉君が二点をあげ、粘る日本文理を三対二で退けて北信越代表権を獲得しました。

女子学校対抗戦は、第一シードの開志国際、第二シードの北越、第三シードの新潟産大附、第四シードの新潟青陵の四校が順当にベスト四に勝ち上がりました。ベスト四決定戦では新潟青陵と第五シード上越との対戦が注目されましたが、新潟青陵が三対一で勝利しました。

女子決勝は、準決勝で新潟青陵を三対一で破つた開志国際と北越を三対二で破つた新潟産大附の対決となりました。新潟産大附エースの新沢ほのかさんが二番で開志の佐合凜音さんを三一二で破り一矢を報いましたが、一番渡辺美乃さん、三番佐藤杏香さんが前日の雪辱を果たして七位となり代表権を獲得しました。

終わりに、男女とも私学優位が顕著になつてき本県高校卓球界ですが、お互い切磋琢磨しながら心技体を磨き、スポーツを通じて人間としての成長を目指してもらいたいと思います。また、二日間に渡り、検温・消毒作業等、多くの先生方や補助員生徒の協力をいただき、無事、コロナ禍の中での大会を終了できました。主管校の新潟工業高校の新田先生を中心に、細心の注意を払いながら大会運営にあたつていただき深く感謝申し上げます。

二〇二〇年度を振り返つて



新潟県卓球連盟
中学委員長
比護 洋平

していた大会がなくなってしまい、三年生は失意とやり場のない思いにかられたことであろう。

中学委員会として、なんとか三年生のためにできることはいかないかと、何度も相談を重ねてきた。大会はできなくとも形に残るものは作れないかと、『新潟県中学校卓球部選手名鑑』制作を企画し、雑誌編集社と打ち合わせを行つたりもした（※経費の面で残念ながら中止）。

今年度は、新型コロナウィルスに振り回され、その対応に追われた一年であった。

三月に全国一斉の休校措置がとられ、部活動もままならない状況となってしまった。休校が解除された後も、制限がかかった中での活動を余儀なくされた。

さらに四月には、「全国中学校体育大会中止」という大変ショッキングな決定がなされた。それに伴い、予選となる北信越大会、県大会、地区大会もすべて中止となつてしまつた。三年生にとって、この中体連主催大会は中学校部活動の総決算となる特別な大会である。最後の目標と



月末に三年生の代替大会（交流試合）が行えることになつた。引退の節目となる試合を設定できるのは大変喜ばしいことだつたが、一方で開催にあたり、さまざまな問題をクリアする必要があつた。三年生は受験を控えているため、なんとか夏休み前までに実施したい。しかし、急

な話で時間がない。会場確保や日程などを、他競技とも調整しながら急ピッチで進めるこになつた。さらに、一番の問題は感染症対策に細心の注意を払いながらの実施である。入場制限をかけざるを得ない会場も多かつたことだと思う。中体連卓球専門部および各校顧問の先生方におかれでは、大変なご苦労があつたと推察する。各都市レベルでの開催であつたが、無事に実施することができ、三年生にとっては思い出に残ることになつた。一日となつたであろう。



その後、上越市開催予定であった中部日本選手権大会の中止、全日本選手権大会カデットの部の中止も発表され、県予選会も中止となつた。県卓球連盟主催の大会としては、残なつた。八月から会議を重ね、開催に向けて準備を進めてきた。密を避けるため、例年二日日程で行うものを、男子団体・女子団体・男女個人



の三日日程に変更した。その他にも、団体戦五シングルスへの競技ルールの変更、登録人数の変更、健康観察表の提出、会場入り口での検温、会場への入場制限、入場許可証の準備、ボールの消毒、換気など、さまざまな対策を立てて準備を進め

てきた。と

ころが、団体戦開催直前に、自治体の対応によって出場できなくなるチークムが出てしまった。選手・保護者の気持ちを思うと残念でならない。開始式において、そのことを参加者にお伝えし、各自ができることをきちんと行つたう



えで、安全ですばらしい大会になることをお願いした。各校の協力、各選手の自覚ある行動、競技役員の皆さんのご尽力のもと、大きな問題もなくスムーズに進めることができた。無事に団体戦二日間を終えることができて安堵している（※原稿執筆時点では、個人戦はまだ実施され

ていない）。

今後もしばらくは、さまざまな制限の中での大会開催が続くことが予想される。また、我々が予期しないことが起こる可能性もあるだろう。困難が生じたとしても、選手である中学卓球部員を第一に考え、連携をとりながら行動していきたい。

全国選抜出場によせて



糸魚川市立青海中学校
卓球部顧問

相田 翔平

中学校教諭として卓球部を担当させていただくのは累計五年目と、長く卓球に関わっているわけではないのですが、素晴らしい選手や外部指導者の皆様、様々な形で支えていた。だいたい周りの顧問の先生方や活動にご理解、ご協力いただける保護者の皆様など多くの縁に恵まれ、全国選抜大会や北信越大会など、大きな大会にコーチ、監督として何度となく参加させていただいております。三条市立第三中学校で初めて副顧問として卓球部に関わった年に県新人大会で、顧問の先生を中心にベンチ入りメンバーだけでなく、ギャラリーで応援するメンバーを含めて事前に

対策を練つたり、大会当日の他の学校の試合を観察したり、選手も教師も声を枯らし、ベンチもギャラリーも一体で選手を応援したりしながら優勝をつかんだ七年前とは一味違つた今年の県新人大会でした。今年度は新型感染症対策のためベンチからの声出しができず、ベンチの他の誰よりももどかしさを感じながら試合を見守つていきました。

部員と出られない部員がいたりする中でも、チームとしての目標をともにし、チームの結果をともに喜べる関係性ができることが、何よりも大切なことだと感じています。

青海中学校卓球部は男子十二名、女子七名と必ずしも人数が多いチームではありません。また、部員の多くが中学校で卓球をはじめ、部活動だけで卓球の練習をしている部員も少なくありません。そんな中で、クラブで卓球を習っている部員が中学校で卓球を始めた部員と練習をし、技術を高め、男女ともに少しづつチームとしての結果が残せるようになつてきました。様々なモチベーションの生徒がいたり、試合に出る

地区新人大会では団体戦は三位となり、県大会に向けて「決勝リーグに上がる」と目標にして練習に取り組みました。大会当日は、「自分ができることを精一杯やり、自分の役割を果たそう。」という点だけを選手に繰り返し伝え、今後に向けた課題を見つけることを最優先に臨みました。実際の試合で、選手たちは自分たちのできる最高のプレーを見せてくれました。決勝リーグでは地区大会で負けたチームにも勝利をおさめ、県新人優勝という想定以上の結果を残すことができました。試合に出た選手以外も、よくサポートの役割を果たしてくれ、チーム全員でつかみ取ることができた勝利だつたと思っています。

全国選抜大会は、全国レベルの選手たちと試合をする最高の機会になると思います。高いレベルの試合をしたり、見たりすることで刺激をう

け、一人ひとりのさらなるレベルアップにつなげてほしいです。

原点回帰

ノングルー時代こそ元祖・高弾性高摩擦ラバー

MARK Vへ帰る



<http://www.yasaka-jp.com>



令和元年度 一般会計決算書

「収入の部」

(单位: 亿元)

項目	H20年度見込決算(A)	H20年度本決算(B)	比較(A-B)	備考
総 越 金	6,382,569	7,948,209	△1,565,640	
項目	予算額(A)	決算額(B)	比較(A-B)	備考
登録料	11,794,000	12,093,600	△299,600	
団体	1,088,000	1,088,000	0	
新発田支部	85,000	90,000	△5,000	@5,000×18団体
佐渡	15,000	20,000	△5,000	@5,000×4団体
新潟	360,000	360,000	0	@5,000×72団体
三条	95,000	95,000	0	@5,000×19団体
長岡	160,000	145,000	15,000	@5,000×29団体
魚沼	65,000	65,000	0	@5,000×13団体
十日町	35,000	30,000	5,000	@5,000×6団体
柏崎	100,000	110,000	△10,000	@5,000×22団体
上越	115,000	120,000	△5,000	@5,000×24団体
妙高	45,000	40,000	5,000	@5,000×8団体
大学生	13,000	13,000	0	@1,000×13人
日赤協賛人	9,834,000	10,140,600	△306,600	
選手 一般	2,000,000	2,016,000	△16,000	@1,600×1,260人
教職員	24,000	35,200	△11,200	@1,600×22人
日学連	150,000	153,600	△3,600	@1,200×128人
高校生	1,500,000	1,587,000	△87,000	@1,000×1,587人
中学生	4,600,000	4,771,200	△171,200	@800×5,964人
小学生	360,000	340,800	19,200	@800×426人
役員 一般	352,000	382,400	△30,400	@1,600×239人
教職員	848,000	854,400	△6,400	@1,600×534人
審判登録料	872,000	865,000	7,000	
[国際審判員(更新)]	0	5,000	△5,000	@5,000×1人
[国際審判員(新規)]	0	0	0	@5,000×0人
公認レフリリー	20,000	20,000	0	@10,000×2人
上級公認審判員(旧規更新)	6,000	6,000	0	@5,000×1人
[公認審判員(新規)]	0	0	0	@5,000×0人
上級公認審判員(新規)	16,000	0	16,000	@5,000×0人
公認審判員(一般新規)	60,000	120,000	△60,000	@4,000×30人
公認審判員(001)教職員	30,000	32,000	△2,000	@2,000×16人
公認審判員(202)一般教員	20,000	12,000	8,000	@4,000×3人
公認審判員(高校生)	360,000	284,000	76,000	@2,000×142人
B級→公認	10,000	10,000	0	@2,000×5人
B級	350,000	376,000	△26,000	@1,000×376人
大会参加料	6,029,500	6,057,500	△28,000	
実業団	64,000	72,000	△8,000	@8,000×9団体
クラブ1・2・3・4部	392,000	400,000	△8,000	@8,000×50団体
クラブ5部	75,000	66,000	9,000	@3,000×22団体
ホーネットS	60,000	54,000	6,000	@1,500×36団体
レディースT	80,000	136,000	△56,000	@5,000×17団体
W	84,000	92,000	△8,000	@2,000×46組
社会人S	60,000	60,000	0	@1,500×40人
W	40,000	34,000	6,000	@2,000×17組
マスターズ	255,000	228,000	27,000	@1,500×152人
国民体育予選会	90,000	93,000	△3,000	@1,500×62人
少年予選会	510,000	486,000	24,000	@1,000×486人
高校1年生	350,000	332,000	18,000	@1,000×332人
W選手権	260,000	330,000	△70,000	@2,000×165組
会長杯(一般)	187,500	193,500	△6,000	@1,500×129人
(ジュニア)	620,000	641,000	△21,000	@1,000×641人
カデットS	140,000	142,500	△2,500	@500×285人
W	93,000	97,000	△4,000	@1,000×97組
ホーファス・カブ・パンピS	90,000	95,500	△5,500	@500×191人
高校選抜T	300,000	300,000	0	@6,000×50団体
S	256,000	256,000	0	@1,000×256人
中学新人T	168,000	168,000	0	@3,000×56団体
S	225,000	224,000	1,000	@500×148人
全日本ラージボール景手予S	105,000	0	105,000	@1,500×0人
全国ラージボール景手予S	37,500	39,000	△1,500	@1,500×26人
全国ラージボール景手W	60,000	0	60,000	@2,000×0組
全国ラージボール景手W	20,000	18,000	2,000	@2,000×0組
世代交流W	150,000	166,000	△16,000	@2,000×83組
北信道フット・バッジ賞	67,500	48,000	19,500	@5,000×32団体
北信道フット・バッジ賞	0	78,000	△78,000	@500×156人
東京道推進賞(一般)	225,000	210,000	15,000	@1,500×140人
(ジュニア)	200,000	199,000	1,000	@1,000×199人
(カブトT)	15,000	14,000	1,000	@500×28人
東京選手権県予選W	0	82,000	△82,000	@2,000×41組
中部日本選手権予選(一般)	150,000	126,000	24,000	@1,500×84人
(ジュニア)	150,000	126,000	24,000	@1,000×126人
(カブトT)	50,000	30,000	20,000	@500×60人
小学生ラングキング戦	400,000	421,000	△21,000	@500×842人(3大会分)
託 球	848,000	974,000	△126,000	県体育協会から強化事業委託
「固体強化事業(通年化)」	504,000	108,000	396,000	
強化スタッフ支給事業	0	112,000	△2,000	
「南房トヨタア育成事業」	344,000	504,000	△160,000	
受託派遣(県附助助成)	0	250,000	△250,000	
補 助	1,950,000	1,049,700	900,300	県教育委員会から
「日本国体派遣」	1,700,000	719,120	980,880	茨城県立市立開催 4種別
北信道国体派遣	220,000	322,440	△102,440	石川県白山市開催 2種別
「国体」チケット費	30,000	7,600	22,400	
審査事業収入	20,000	9,500	10,500	
賛助会員	10,000	6,000	4,000	講習会受講のみ
賛同会員	10,000	3,500	6,500	ルールブック販売 @500×7
その他	0	0	0	
徴 収	0	0	0	
諸 収 入	252,100	673,548	△421,448	
広告料等	112,000	112,000	0	ナサカ(30,000),ニッタク(28,000),スマス(28,000広告権),三英(28,000)
特別協賛金	40,000	40,000	0	ヴィタクス(ヤマト)(40,000)
段位昇進賞元金	100,000	106,110	△6,110	
預金利息	100	20	21	
その他	0	421,350	△421,350	中国銀行奨金会員,企毛市立小学校,北信道カラクリ会会員,セイバン郵便局
SL	37,276,350	39,927,535	△2,651,285	

[支出の部]

令和2年3月31日現在

(単位: 円)

項目	予算額(A)	決算額(B)	比較(A-B)	備考
会費	485,000	470,000	15,000	
日本卓球協会	100,000	100,000	0	加盟団体分担金・賛助会費
県体育協会	200,000	200,000	0	加盟団体会費
中部日本卓球連盟	40,000	40,000	0	加盟団体会費
全国教職員卓球連盟	20,000	20,000	0	連盟費
北信越高校会宿	50,000	50,000	0	
北信越中学校会宿	50,000	50,000	0	
北信越県連期成会	10,000	10,000	0	県分担金
県立アリーナ建設進捗会	15,000	0	15,000	加盟団体分担金
登録料	7,615,050	7,824,760	△209,710	
日本卓球協会会員	6,706,000	6,908,960	△202,960	
選手一般	1,500,000	1,512,000	△12,000	@1,200×1,260人
教職員	15,000	22,000	△7,000	@1,000×22人
日学連	85,000	87,040	△2,040	@680×128人
高校生	840,000	888,720	△48,720	@560×1,587人
中学生	3,220,000	3,339,840	△119,840	@560×5,964人
小学生	252,000	238,560	13,440	@560×426人
役員一般	264,000	286,800	△22,000	@1,200×239人
教職員	530,000	534,000	△4,000	@1,000×534人
日学連還元金	31,250	32,000	△750	△250×128人
全国高体連還元金	300,000	317,400	△17,400	△200×1,587人
全國教職員還元金	109,000	111,200	△2,200	△200×556人
審判員卓球登録料	272,000	252,000	-20,000	
国際審判員	0	3,000	△3,000	@3,000×1人
国際審判員(定期)	0	0	0	@1,000×0人
公認レフリー	16,000	16,000	0	△8,000×2人
上級公認審判員定期料	4,000	4,000	0	@1,000×1人
上級公認審判員定期料	0	0	0	△6,000×0人
上級公認審判員定期料	12,000	0	12,000	△6,000×0人
公認審判員(定期料)	30,000	60,000	△30,000	△200×30人
企画委員会(定期一括受取)	15,000	16,000	△1,000	@1,000×16人
企画委員会(定期一括受取)	10,000	6,000	4,000	@2,000×3人
公認審判員(定期受)	180,000	142,000	38,000	@1,000×142人
B級一般	5,000	5,000	0	@1,000×5人
支部還元金	196,800	203,200	△6,400	△20×10,160人
大会開催費	3,290,000	3,182,637	107,363	
実業団クラブ～5部	90,000	90,000	0	大会主管費
レディース	70,000	70,000	0	大会主管費
社会人	70,000	70,000	0	大会主管費
マスターズ	70,000	70,000	0	大会主管費
固体成年才選会	70,000	70,000	0	大会主管費
少年才選会	110,000	110,000	0	大会主管費
高校1年生	90,000	90,000	0	大会主管費
W選手権	100,000	100,000	0	大会主管費
会長杯一般	80,000	80,000	0	大会主管費
ジュニア	110,000	110,000	0	大会主管費
カデット	70,000	70,000	0	大会主管費
ホープ・ガール・バビキド	90,000	90,000	0	大会主管費
高校選抜	140,000	140,000	0	大会主管費
中学新星	120,000	120,000	0	大会主管費
全日本ラージボール県予選	60,000	0	60,000	大会主管費
全国ラージボール県予選	60,000	60,000	0	大会主管費
世代交流W	70,000	70,000	0	大会主管費
北信越リーグ・カブ・ハイビク	70,000	70,000	0	大会主管費
東京選手権予選(春・夏)	60,000	60,000	0	大会主管費
東京選手権予選(秋・冬)	60,000	60,000	0	大会主管費
中部本拠地予選(春)	70,000	70,000	0	大会主管費
(ジニア)	70,000	70,000	0	大会主管費
(ガット)	70,000	70,000	0	大会主管費
小学生ランキン戦	410,000	284,453	125,547	大会主管費(3大会分)
消耗品費	450,000	434,265	15,735	ボル代等
賞状印刷費等	200,000	316,295	△116,295	賞状印刷代、大会案内ハガキ印刷代
表彰費	300,000	247,500	52,500	メダル代等
通信費	60,000	90,124	△30,124	葉書代等
強化費	3,800,000	3,208,824	591,176	
通年強化事業	2,000,000	1,419,565	580,435	各種強化合宿・練習会・国体二次選会
国体強化事業	1,000,000	1,110,105	△110,105	遠征・強化合宿等・国体ユニフォーム補助
優秀選手育成チーム補助	500,000	300,000	200,000	
優秀選手支援費	240,000	360,000	△120,000	
強化部活動費	60,000	19,154	40,846	会議費・事務費
固体派瀬費	3,430,000	1,637,546	1,792,454	
本州国	2,900,000	1,061,267	1,838,733	茨城県目立市開催 2種別
北信越国	500,000	568,679	△68,679	石川県白山市開催 3種別
国体ユニフォーム一式購入	30,000	7,600	22,400	
普及	360,000	309,975	50,025	
表彰費	100,000	83,000	17,000	表彰場、賞状、祝礼金等
講習会開催	235,000	211,384	23,616	各種指導者・講習会費用
会議費・事務経費等	25,000	15,591	9,409	会議費・旅費、印刷代、事務用品等
広報費	280,000	264,550	15,450	
印刷代	250,000	264,000	△14,000	1,000部×(2回発行)
会議費・事務経費等	30,000	550	29,450	郵送料・事務経費等
審判部費	570,000	625,687	△55,687	
講習会費用(国級)	330,000	391,443	△61,443	高校講習会・研修会
印刷代	130,000	152,280	△22,280	ルーリング印刷代
審判員活動費	60,000	15,000	45,000	遠征補助・会議費
事務経費	50,000	66,964	△16,964	送料、文具
委員会費	500,000	482,428	17,572	
大学	50,000	50,000	0	
高校	200,000	200,000	0	
中学	100,000	100,000	0	
小学生	50,000	32,428	17,572	
レディース	50,000	50,000	0	
マスターズ	50,000	50,000	0	
大会開催負担費	100,000	100,000	0	
北信越リードイース大会	100,000	100,000	0	
運 費	3,082,000	2,052,388	1,029,612	
印刷費	30,000	0	30,000	会議資料等
旅費宿泊費	500,000	425,540	74,460	理財学会等
通信費	300,000	89,100	210,900	登録事務費を含む
会議費	150,000	122,877	27,123	理事会会議費・食事費等
事務費	100,000	6,628	93,372	登録事務費を含む
慶弔費	30,000	2,673	27,327	
団体資金	400,000	0	400,000	
事務局費	1,300,000	1,113,100	186,900	
事務機器購入費	0	0	0	
IP・メール事務手当	72,000	80,000	△8,000	
詮諭費	200,000	212,470	△12,470	
総 会 金	1,100,000	1,100,110	△110	段位還元金+1,000,000円を特別会計へ
予 備 費	2,664,119	0	2,664,119	
合 计	22,276,169	21,258,905	6,017,264	

最終決算額
(収入)28,8

伊藤美誠選手を支えるニッタクのギア



ファスターク G-



モリスト SP アコースティックカーボン

伊藤 美誠
(スターツ)

The logo features the number '100' in a large red circle, with the word 'YEARS' written vertically in white inside the circle. To the right, the brand name 'Nittaku' is written in its signature blue font, with a registered trademark symbol (®). Below 'Nittaku' is the word 'ANNIVERSARY' in a smaller, gray sans-serif font.

令和2年7月5日
監事 玉木章雄
〃 坂中智雄